

## 豊かな地域療育を考える連絡会 報告とお知らせ

第194回定例会を10月20日(木)に実施しました。Zoomによるオンライン定例会は全体会・部会で26名の参加でした。4つの分野別部会に分かれてオンラインでの話し合いができました。

### 1. 子ども権利の日フォーラムについて

○ チラシの配布が開始されている。各学校、療育センターには配布完了。現在申し込みが来ている段階。

○ 11月23日から日にちが変わって11月12日の土曜。コロナになってからオンライン開催にしている。今回も完全オンラインで。家庭支援がテーマ。

保護者支援を主に。療育相談でんでん虫の栗原さんから話をさせていただくことに。前回の定例会でフォーラムの前段として栗原さんにお話しいただいた。わになろうの会報にもチラシを挟んでいるほかミニ学習会での内容も掲載されている。

また中央療育センター入所部センター長の林さんから入所支援から考える家庭支援の話聞く。いまのところ支援者側の応募が少ないのでこの連絡会に参加している人はぜひ申込を。

○ チラシはわになろう会報に挟んで配布した。今のところ45名申し込み。そのうち約40名保護者。いつもは支援者が多く、保護者は一桁だったのに。今年は逆。土曜だからかこのテーマに関心があるのか。申し込みの際、質問やメッセージも多く寄せられているので、支援者もぜひ参加を。

○ これまで事務局の中でフォーラム担当の皆さんが一生懸命取り組んでくれている。チラシは各区の地域見守り支援センターにも置いてもらっている。

○ 完全オンラインとのことだが講演される人は何もないう状態で話されるのは難しいので誰か会場にいる

と話す人が話しやすいのでは。

Q. リアルの会場はどこなのか？

A. 川崎生涯学習プラザの会議室から発信

Q. 今回のテーマを事業所利用の保護者に説明したいと思うが、今回の趣旨は家庭の中の声を外に出すにはどうしたらいいか、ということなのか？保護者からの声を聴くのが狙い？

A. こどもの支援の相談場所はあっても保護者の相談窓口の場所がわからない、という声が多い。支援者側も家庭の支援まで入っていくのが大変。支援者、保護者で今後どうしたらいいか、つながっていったら。

A. 幼児小学生支援をしていると子ども自体には支援が広がっていて、それはいいことだが子どもの障がいそのものだけに支援をしても、それを支える基盤の家庭が困難を抱えている場合もある。家庭にどんな支援をしていけばいいのか？

A. 子どもの支援の裏には必ず家庭の問題がある。子どもについてはいろいろな制度が使えるけれど、親の支援に関しては今の福祉制度では使えるものが限られる。そこでどういう支援があればいいのか？

参加者の皆さんの声を聴いて、考え合いたい。

○ 支援者側の多くの参加をお願いしたい。申し込みの際に現地での会場参加希望者は備考欄に入れておいてほしい。

### 2. 事務局より報告・お知らせ

○ 川崎市子ども発達・相談センター「きっずサポートみやまえ/きっずサポートたま」開設

・これまで川崎、幸に開設された子ども発達・相談支援センターが10月1日に多摩区、宮前区でも開設される。正式な開所は10月3日から。社会福祉法人青い鳥運営。施設の場所は宮前区は馬絹、多摩区は西生田。来月11月の定例会で総括している藤本さんにミニ学習会で詳しい話を聞く。

○ ダンウェイの合同進路説明会

・障害者就労支援・雇用事業者等 合同説明会  
2022年10月28日(金) 10時～14時

場所はYouTubeライブ配信。(すでに終了しました)

○ てんかんの研修会 市民公開講座

・2022年11月20日(日)

13時～15時15分

神奈川県てんかん医療・社会連携協議会、聖マリアンナ医科大学病院(神奈川県てんかん支援拠点病院)が主催。問い合わせは聖マリアンナ医科大学病院てんかんセンター。

てんかんの研修会「学校でのてんかん発作の対応」。講師はソレイユ川崎の副施設長でもある聖マリアンナの須貝先生。市民講座は「てんかんと発達障害」。保護者はもちろん、基礎的な理解を得るための勉強になるので支援者にも。

### 3. 近況報告

(紙面の都合で略)

195回定例会は 11月17日(木) 9:30～11:30 (全面リモートで実施予定)

参加申込および問い合わせは、事務局044-455-7468 七川まで